

# 令和5年 防火作文・標語 優秀作品集

## 『募集内容』

テーマ	火災予防について (火の用心についての習慣や体験を通して伝えたいこと、考えたことなど)	
	防火作文	防火標語
募集結果	408点	4,172点
審査結果	防火作文・防火標語入賞者のとおり(敬称略)	

嶺北防火協会  
嶺北消防組合消防本部



# 防火作文の部

## 最優秀賞 「防火について学んだこと」

長畝小学校 6年 坂本 陸

ぼくは、今まで防火についてあまり考えたことがありませんでした。学校の避難訓練でしか意識したことはありません。しかし、ある日のニュースを見て、防火について考えるようになりました。

今年の八月、ハワイマウイ島で起きた山火事です。アメリカの山火事として過去百年で最悪の被害となっています。死者は今のところ百十人と報じられています。家を失うなどした四千五百人以上が空港近くの避難所へ身を寄せています。被害の全容はまだ分かっていなく、被害はまだ拡大すると予想されています。ぼくは百人もの死者がいると聞いてとてもショックでした。

山火事はどうしたら防げるのか考えてみました。山火事になる人為的な原因は、「たき火」が、三十一・五%で最も多く、次いで「農業の火入れ」、「放火」、「たばこ」となっています。自然発火の原因は、主に高い気温と乾燥、落雷などがあります。

自分が起こした火が元で山火事になり、それが大火災へとなくなっていくこともあるのです。火気の取扱いがいかに大事かということです。十分に注意すること、しっかり火の始末をすることだと思えます。

身近なところで家庭の防火について考えてみました。ぼくも日頃から防火についてできていただろうか。ぼくは夏休みに何回か花火をします。とても楽しみにしている夏休みの遊びです。花火をする前に必ず水を入れたバケツを用意します。周りに燃えやすい物を置かない、風の強いときは花火をしない、子どもにライターや火のついた花火を持って走らせたり遊ばせたりしない、必ず大人が見守る。花火が終わった後、水で消火し、念のため周りに水をまく、他にも火事にならないための対策があります。消火器などの備えを万全にする、火元から離れない、就寝前と外出前の火元確認、電気機器は正しく使い、たこ足配線はしない。特にコンセントのほこりによる漏電が原因で火事が発生し、家が全焼したと聞いたことがあります。時々、コンセントのそうじをしたり、使わない電気機器の電源をオフにするなど気をつけることはあります。

どんなに注意をしても火事になってしまうことがあるかもしれません。普段から住宅用火災警報器の設置や消火器を備え、火事を最小限におさえられるように初期消火が大事になってきます。学校の避難訓練を今まで以上にしんげんに取り組みたいと思いました。この作文を通していろいろと調べたことが勉強になり、今まで意識がうすい防火について考えることができました。

### 優秀賞

- ・「私が防げる火災」
- ・「防火への第一歩」

三国中学校1年……元井手毬  
高椋小学校5年……前川茉美奈

### 佳作

- ・「火には気をつけよう」
- ・「裸火」
- ・「いのちをまもる」
- ・「火事にならないために」
- ・「火はこわい」
- ・「火の用心」
- ・「火事をなくすための我が家の取り組み」

磯部小学校3年……下山大翔  
芦原中学校1年……龍嶋祐河  
東十郷小学校3年……戸板笑那  
三国南小学校3年……内田陽結  
平章小学校5年……宮永理乃  
三国西小学校6年……高橋杏奈  
三国中学校1年……小林和輝

# 防火標語の部



最優秀賞

「不注意が 全てを奪う 火の用心」

春江西小学校4年 宮郷華乃



優秀賞

「伝えあおう 子どもが知らない 火のこわさ」

春江西小学校6年 衣川夢空

「確実に 自分の目で見て 火の用心」

シプロ化成(株) 米谷文寿

「火をけそう 家族のえがお 守るため」

細呂木小学校4年 長谷川昊大

「火はけした うっかりじゃなく しっかりと」

金津小学校4年 庄田悠聖

「怖いのは 慣れて忘れる 火の始末」

(株)UACJ板事業本部 福井製造所 門前裕久

「ひがでない おおるでんかで ゆだんあり」

鳴鹿小学校1年 山田ひかり

「ひのかんり かぞくみんなが かんしにん」

三国南小学校1年 崎田結友

「わすれ物 スマホじゃないよ 火のかくにん」

磯部小学校4年 吉田樹生

「火は消した? 母から子への 合言葉」

福井山田化学工業(株) 岡田浩二

「火はけした わたしもかくにん お手つだい」

金津東小学校2年 宗石紗那

「何見てる? スマホじゃなくて 火の元ね」

鳴鹿小学校3年 宮塚陽莉



佳作

「さあ目指そう 火事も不安も 無い未来」

高椋小学校6年 酒本美咲

「油断だめ コンロとコロナ 消えてない」

セーレン(株)TPF事業所 西啓二

「小さな火 防火のはじまり 注意の火」

セーレン(株)TPF事業所 勝木幸子

「火の用心 燃やすべきもの 心だけ」

セーレン(株)TPF事業所 川端航矢

「あれ?けした まよった時は さいかくにん」

加戸小学校3年 藤木詠斗

「コロナ明け 心配へっても 火は用心」

三国南小学校4年 今野洵

「消えたかな みんなでシェアして 火の用心」

木部小学校5年 陶山叶望

「確信へ はずでは消えぬ 火のこわさ」

(株)ワコムエフアグチャリソグジャパン福井工場 鶴田眸

「多分、だろう? 任せず自ら 確認を!」

福井鋳螺(株) 西出正則

「けしたかな うたがうところ だいじだよ」

金津東小学校1年 吉永ちはや

「住けいき おして安心 てんけんボタン」

伊井小学校3年 龍田香弥

「じしんむり かじはふせげる わたしでも」

鳴鹿小学校2年 坪川友泉

